

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 一般-13

学校名・団体名	本庄市立金屋小学校
HPアドレス	http://edu-honjo.com/kanayasyo/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	特別支援学級児童の自立に向けた農業生産活動
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>本校の特別支援学級では、作物栽培を通じ、将来的な自立への機会となるような活動を行っている。作物を育て、収穫をし、取れたての旬の野菜を自分で調理し、味わう。収穫の嬉しさを通じて働くことの意義や喜びを体験させるとともに、将来の自立支援に向けた活動につなげていく為、この研究を設定した。</p>	

1 本校の概要

本校は埼玉県本庄市の南西部に位置し、八高線がのどかに走る田園や山林に囲まれている。また、本市の誇りである塙保己一先生の生家が学区内にあり、肖像画を全学級に掲げ、発達段階に応じてその教えを学んでいる。

在籍児童数は300名で、通常学級12学級、特別支援学級知的障害学級3学級、自閉症・情緒障害学級1学級の計16学級である。特別支援学級在籍児童だけで22名おり、中規模の学校としては多人数在籍しているといえる。その人数の多さを生かし、特別支援学級4学級合同の授業として、生活単元学習を行っている。児童の自立と、将来の社会参加に向けて、日々の生活ですぐに実践できることを目的に、楽しみながら学習を進めている。

2 活動の時期および内容

3月 畑を耕し、有機肥料を混ぜて土の準備をする。
じゃがいも、とうもろこしの植え付け。

4月 かぼちゃ、きゅうりの播種。

5月 じゃがいもの土寄せ。
いちご苗を育てる。

6月 きゅうり植え付け、オクラの播種。
ミニトマト苗植え付け。
さつまいも苗植え付け。
とうもろこし受粉作業。
オクラ苗植え付け。
なす苗植え付け。
キャベツ、ブロッコリー播種。
きゅうり、とうもろこし収穫。

7月 じゃがいも収穫。
無人販売所オープン。

きゅうり、ミニトマト、とうもろこし、なす収穫。

8月 きゅうり、ミニトマト、なす収穫。

9月 畑の整地
のらぼうな、大根播種。
白菜、ブロッコリー、キャベツ苗の植え付け。
にんじん、聖護院大根、聖護院かぶ播種。
たまねぎ、ほうれんそう、小松菜、チンゲン菜、水菜、春菊播種。

10月 大根の間引き。
スナップえんどう、いんげん、そらまめ播種。
さつまいも収穫。
「金屋っ子まつり」でバザー開催。
収穫した野菜や育てた花の苗をバザーに出品。
落ち葉で腐葉土づくり。

11月 大根収穫。
聖護院大根、聖護院かぶの収穫。
4年1組と共同で畑作業を行う。
収穫した大根でみそ汁と漬け物調理、試食。

12月 ほうれんそう、小松菜、チンゲン菜、水菜、春菊の収穫。
収穫した大根で切り干し大根づくり。
農家の訪問。

1月 畑の整地、拡張作業。

2月 のらぼうなの収穫。

3月 じゃがいもの植え付け。

<常時行う活動>

- ・雑草取り。
- ・水撒き
- ・無人販売所オープン



じゃがいもの収穫



無人販売所のようす



収穫した大根で
みそ汁調理



「金屋っ子まつり」のバザー

3 活動の成果

児童が自分たちで育てた野菜を収穫し、味わい、地域へ販売を行う活動を通して、仲間と協力して作業する事の大切さや、収穫の喜びを味わうとともに、働くことの意義を知ることができた。それは将来の自立に向かって歩み出す一歩となるであろう。